

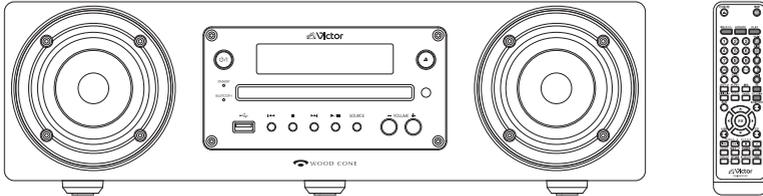


Victor

取扱説明書/保証書

コンパクトコンポーネントシステム

EX-DUB1



※ 本機は原音を忠実に再現するために、振動板に天然木を使用しています。そのため、外観が1台ごとに異なります。



**MP3/WMA
WAV/FLAC**



・ もくじは4 ページにあります。

お買い上げありがとうございます

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。



ユーザー登録 のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。

ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。下記ウェブサイト、または添付されている場合はハガキのどちらからでもご登録いただけます。

● 下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<https://www.32.jvckenwood.com/jvc/system/cons/index.asp>



TINSJA417AWZZ

B5A-4419-00

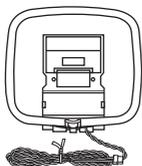
はじめに

本機を楽しむには

音声を楽しむために準備しましょう

ラジオを聴きたい方は、アンテナを接続しましょう

AM アンテナを組み立てて接続する (p. 12)



FM アンテナを接続する (p. 13)



お知らせ

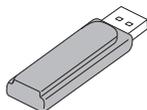
- AM アンテナと FM アンテナは本機に付属しています。
- AM アンテナは組み立ててから、本機に接続します。

いろいろなソース(音源)を聴きましょう

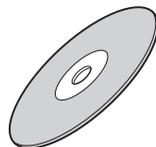
BLUETOOTH 機器 (p. 22)



USB メモリー (p. 25)



CD (p. 25)



ラジオ (p. 32)



デジタルオーディオプレーヤー、
テレビなどの外部機器 (p. 35)



本書のボタン表記について

- 本書では、特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本書のその他の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では、MP3 / WMA / WAV / FLAC の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」と「曲」は同じ意味で使っています。

本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2通りあります。

ボタンを短めに押す：

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押し時間や力を調整して数回試してみてください。



ボタンを長めに押す：

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。



この製品の機種銘板は本体の背面にあります。

レーザー製品についてのご注意

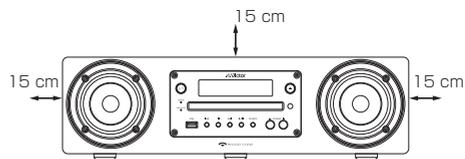
1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- おお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない。
- 本や雑誌などをのせない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

- 本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

もくじ

はじめに	2	ラジオを聴く	32
本機を楽しむには	2	放送局を受信する	32
本機を設置するときは	3	受信状態を改善する(アンテナ調整)	33
準備する	5	放送局を記憶させる(プリセット)	34
付属品を確認する	5	外部機器を聴く	35
リモコンを準備する	5	外部機器を接続する	35
各部の名称	6	外部機器を聴く	35
リモコン	6	BLUETOOTH 送信機能を使う	36
本体前面	8	ワイヤレスヘッドホンを接続する	36
本体背面	10	ワイヤレスヘッドホンとの接続を解除する	37
表示部	11	USB メモリーに録音する	38
接続する	12	録音音質を設定する	38
AM アンテナを接続する	12	録音モードを設定する	39
FM アンテナを接続する	13	CD を録音する	40
電源コードを接続する	14	ラジオ/外部機器を録音する	41
ヘッドホンを接続する	14	録音ファイルの保存場所	41
基本操作	15	タイマーを使う	42
電源を入れる/切る	15	再生タイマーを設定する	42
スタンバイモードを切り換える	15	録音タイマーを設定する	43
時計を合わせる	15	再生/録音タイマーの共通設定について	44
いろいろなソース(音源)を聴く	16	その他の機能	46
表示部の明るさを変える	16	オートパワーセーブ(節電機能)を設定する	46
表示される情報を変える	17	スリープタイマーを設定する	47
音質を設定する	18	その他の情報	48
サウンドモードを使う	18	使用できる BLUETOOTH 機器	48
サウンドモードの効果を強調する	19	USB メモリーのご注意	48
サウンドモードの設定を確認する	19	再生できる CD とファイル	48
サウンドモードをアップデートする	20	CD-R / CD-RW のご注意	48
BLUETOOTH 機器を聴く	22	MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのご注意	49
BLUETOOTH 機器を接続する	22	ファイルの再生順について	50
BLUETOOTH 機器の基本操作	23	SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)	50
接続を解除する	23	お手入れについて	51
電波について	24	商標	51
USB メモリー/CD を聴く	25	故障かな?と思ったら	52
USB メモリー/CD を準備する	25	主な仕様	56
USB メモリー/CD の基本操作	26	保証とアフターサービス	59
プログラム再生をする	28		
リピート再生をする	30		
ランダム再生をする	30		
チャイルドロックを使う	31		

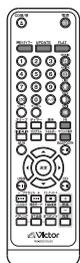
準備する

付属品を確認する

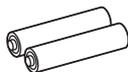
お使いになる前にお確かめください。

リモコン (1個)

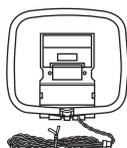
RM-SEEXDUB 1



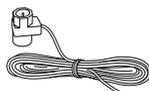
リモコン用単4形乾電池 (2本)



AMループアンテナ (1個)



FM簡易型室内アンテナ (1本)

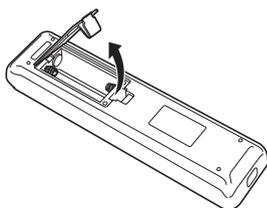


リモコンを準備する

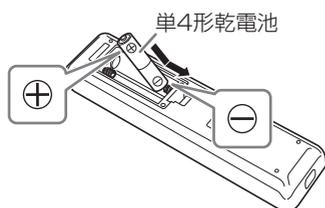
電池を入れる

電池の ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。

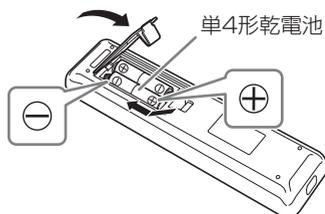
1 リモコン背面のカバーを開ける



2 1本目の電池を入れる



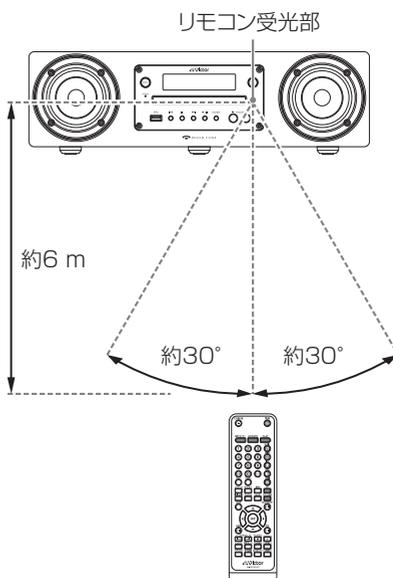
3 2本目の電池を入れて、カバーを閉める



ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

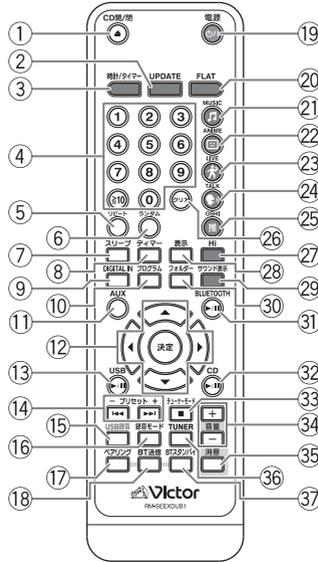
操作のしかた



- リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- リモコンと本体の距離が近すぎると操作できません。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

各部の名称

リモコン



① ▲(CD 開/閉)ボタン

CD トレイを開閉します。

② UPDATE ボタン

推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売りのサウンドモードを本機に書き込むときに使用します。

③ 時計 / タイマーボタン

時計や再生 / 録音タイマーを設定します。

④ 数字ボタン

曲や放送局を選びます。

⑤ リピートボタン

USB メモリーまたは CD のリピート再生をします。

⑥ ランダムボタン

USB メモリーまたは CD のランダム再生をします。

⑦ スリープボタン

スリープタイマーを設定します。

⑧ ディマーボタン

表示部の明るさを切り換えます。

⑨ DIGITAL IN ボタン

外部機器接続(光デジタル入力)に切り換えます。

⑩ プログラムボタン

USB メモリーまたは CD のプログラム再生をします。

⑪ AUX ボタン

外部機器接続(アナログ音声入力)に切り換えます。

⑫ 選択ボタン

- ◀/▶ ボタン

設定項目や曲などを選びます。押し続けると曲を早送り、早戻しします。

- ▲/▼ ボタン

フォルダーを選びます。

- 決定ボタン

選んだ設定項目を決定します。

⑬ ▶/|| (USB) ボタン

USB メモリーの再生 / 一時停止をします。

⑭ ◀◀/▶▶(←プリセット+) ボタン

設定項目や曲などを選びます。押し続けると曲を早送り、早戻しします。また、記憶させたラジオの放送局を選びます。

⑮ USB 録音ボタン

音楽 CD、ラジオ、外部機器の音を USB メモリーに録音します。

⑯ 録音モードボタン

録音モードを設定します。

⑰ ペアリングボタン

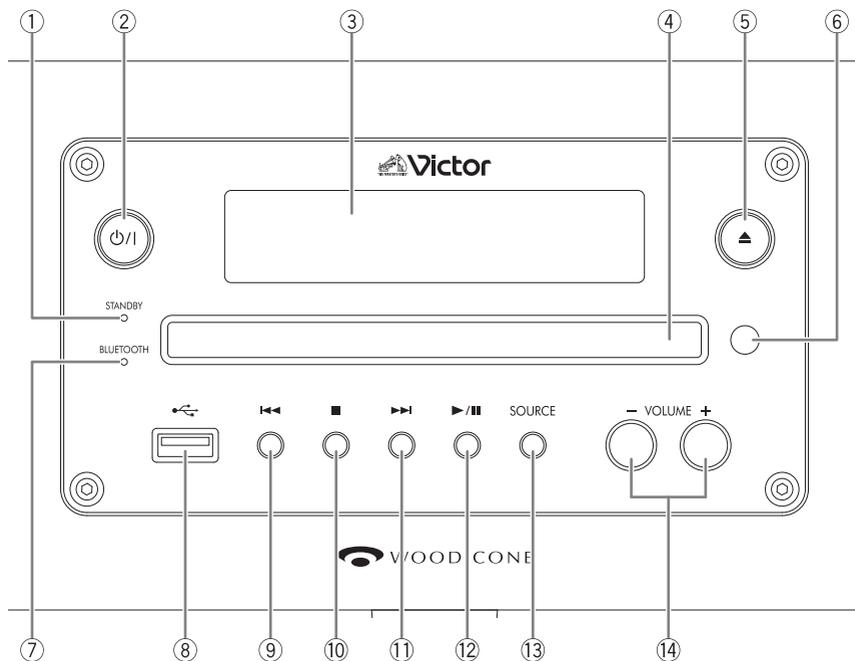
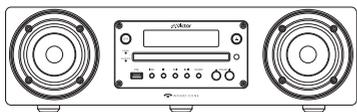
ペアリングモードに切り換えます。

⑱ BT 送信ボタン

BLUETOOTH 送信機能を使用します。

- ⑭ **ON/OFF (電源) ボタン**
電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。
- ⑮ **FLAT ボタン**
サウンドモードをフラットな音質に切り換えます。
- ⑯ **MUSIC ボタン**
サウンドモードをロックまたはバラードに合わせた音質に切り換えます。
- ⑰ **ANIME ボタン**
サウンドモードをアニメ作品に合わせた音質に切り換えます。
- ⑱ **LIVE ボタン**
サウンドモードをライブ会場にいるような音質に切り換えます。
- ⑲ **TALK ボタン**
サウンドモードをラジオや朗読劇、トークイベントなどに合わせた音質に切り換えます。
- ⑳ **OSHI(推) ボタン**
本機に書き込まれた推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)のサウンドモードに切り換えます。
- ㉑ **クリアボタン**
プログラム再生のプログラム内容を確認中に、表示中の曲を削除します。
- ㉒ **Hi ボタン**
選択したサウンドモードの効果を強調します。
- ㉓ **表示ボタン**
表示部の表示内容を切り換えます。
- ㉔ **サウンド表示ボタン**
選択中のサウンドモードを表示します。
- ㉕ **フォルダーボタン**
フォルダーモードに切り換えます。
- ㉖ **▶/|| (BLUETOOTH) ボタン**
BLUETOOTH 機器の再生/一時停止をします。
- ㉗ **▶/|| (CD) ボタン**
CD の再生/一時停止をします。
- ㉘ **■ (チューナーモード) ボタン**
ソース(音源)の再生や USB メモリーへの録音を停止します。また、ラジオ放送(FM)の選局方法(オート選局またはマニュアル選局)を切り換えます。
- ㉙ **+/- (音量) ボタン**
音量を調整します。+ ボタンを押すと音量が上がります。- ボタンを押すと音量が下がります。
- ㉚ **消音ボタン**
音量を一時的に消音します。
- ㉛ **TUNER ボタン**
ラジオ放送(FM / AM)に切り換えます。
- ㉜ **BT スタンバイボタン**
本機の電源が切れているときに押すと、スタンバイモードを切り換えます。

本体前面



前面パネル 拡大図

① **STANDBY** インジケーター

本機の電源が切れている(ノーマルスタンバイ)のときは、赤色に点灯します。
本機の電源が入っている、または **BLUETOOTH** スタンバイのときは、消灯します。

② **電源** ボタン

電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。

③ **表示部**

本機の状態が表示されます。

④ **CD** トレイ

CDを入れます。

⑤ ▲ ボタン

CD トレイを開閉します。

⑥ リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

⑦ BLUETOOTH インジケーター

BLUETOOTH 機器と接続したときは、白色に点灯します。

BLUETOOTH 送信機能を使って、ワイヤレスヘッドホンと接続したときは、青色に点灯します。

⑧ USB 端子

USB メモリーを接続します。

⑨ ◀▶ ボタン

設定項目や曲などを選びます。押し続けると曲を早戻しします。また、記憶させたラジオの放送局を選びます。

⑩ ■ ボタン

ソース(音源)の再生や USB メモリーへの録音を停止します。また、ラジオ放送(FM)の選局方法(オート選局またはマニュアル選局)を切り換えます。

⑪ ▶▶ ボタン

設定項目や曲などを選びます。押し続けると曲を早送りします。また、記憶させたラジオの放送局を選びます。

⑫ ▶|| ボタン

BLUETOOTH 機器、USB メモリー、CD の再生 / 一時停止をします。

⑬ SOURCE ボタン

ソース(音源)を切り換えます。

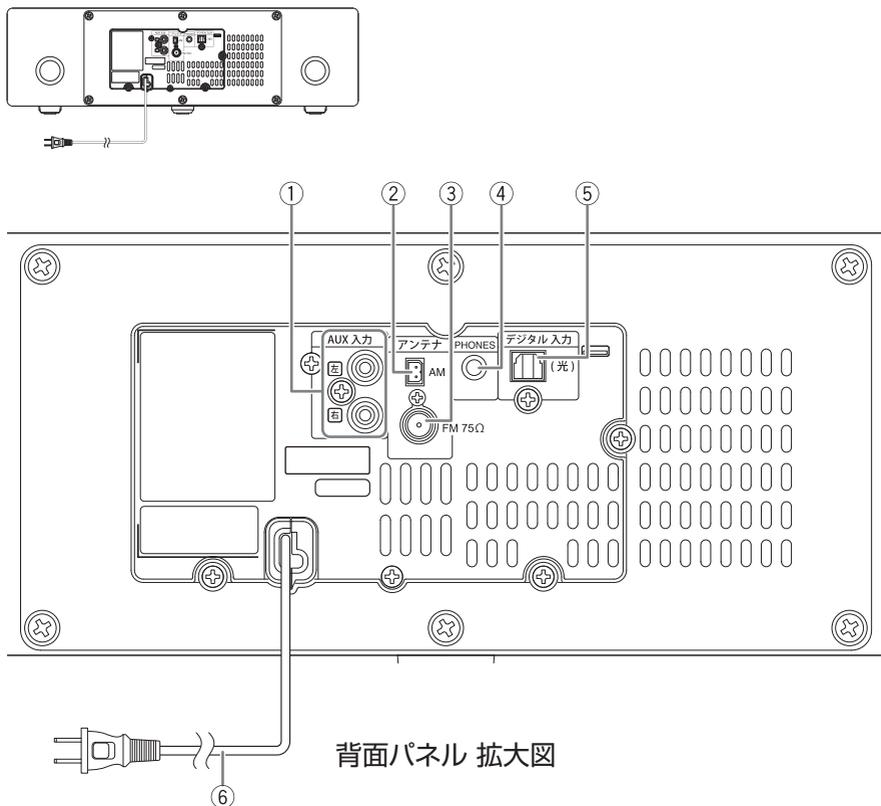
⑭ - VOLUME + ボタン

音量を調整します。- ボタンを押すと音量が下がり、+ ボタンを押すと音量が上がります。

お知らせ

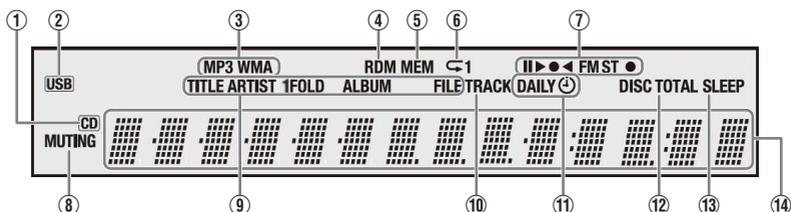
- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)でも、少量の電力を消費します。

本体背面



背面パネル 拡大図

- ① **AUX 入力端子**
アナログ音声出力端子がある外部機器を、音声ケーブル(市販品)を使用して接続します。
- ② **AM ループアンテナ端子**
AM ループアンテナ(付属品)を接続します。
- ③ **FM 75Ω COAXIAL 端子**
FM 簡易型室内アンテナ(付属品)を接続します。
- ④ **PHONES 端子(ヘッドホン端子)**
ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- ⑤ **デジタル入力(光)端子(OPTICAL 入力端子)**
光デジタル出力端子がある外部機器を、光デジタルケーブル(市販品)を使用して接続します。
- ⑥ **電源コード**
電源コンセントに接続します。



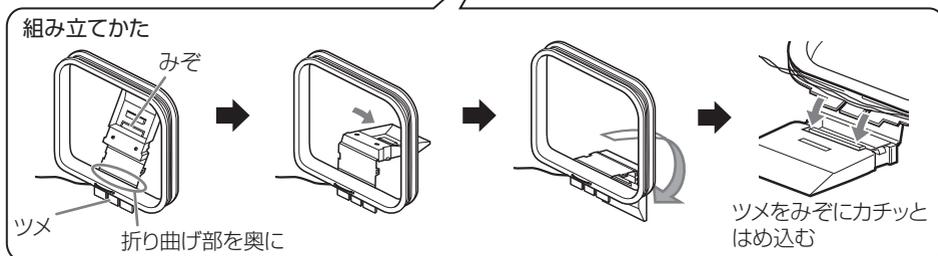
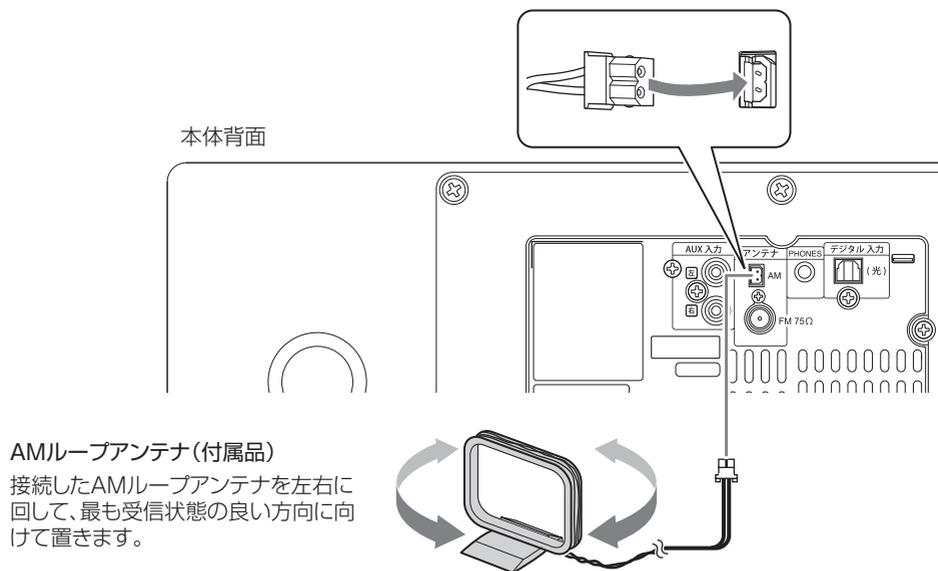
- ① **CD アイコン**
ソース(音源)を「CD」にすると、点灯します。
- ② **USB アイコン**
ソース(音源)を「USB」にすると、点灯します。
- ③ **MP3 / WMA アイコン**
再生しているオーディオファイルの種類(MP3 / WMA)に応じて点灯します。
- ④ **RDM アイコン**
ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、ランダム再生中に点灯します。
- ⑤ **MEM アイコン**
ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、プログラム再生中に点灯します。
- ⑥ **リピートモードアイコン**
ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、リピート再生中に点灯します。
- ⑦ **再生状態アイコン / ラジオ放送受信表示 / BLUETOOTH 受信表示**
ソース(音源)の再生状態、ラジオ放送や BLUETOOTH の受信状態などを表示します。
- ⑧ **MUTING アイコン**
消音中に点灯します。
- ⑨ **ファイル情報**
再生しているオーディオファイルの情報が表示されます。
- ⑩ **TRACK アイコン**
トラックを表示しているときに点灯します。
- ⑪ **タイマーアイコン**
再生 / 録音タイマーを設定すると、点灯します。
- ⑫ **DISC TOTAL アイコン**
音楽 CD の全体の再生時間を表示しているときに点灯します。
- ⑬ **SLEEP アイコン**
スリープタイマーを設定すると、点灯します。
- ⑭ **テキスト表示**
各ソース(音源)の情報を表示します。

接続する

ご注意

- すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

AM アンテナを接続する



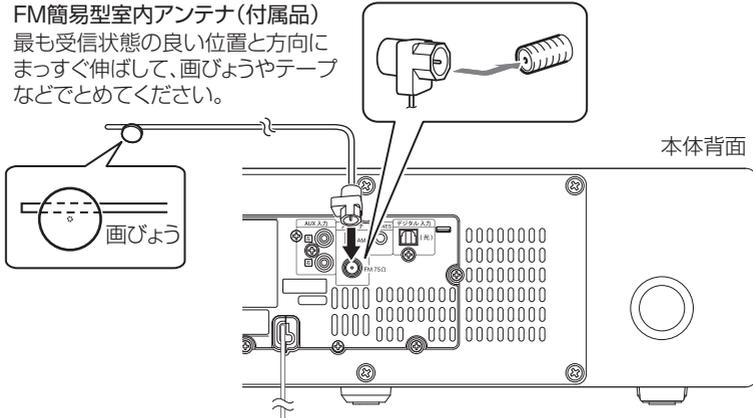
AM ループアンテナについてのご注意

- ラジオを聴く前に、必ずアンテナを接続してください。
- AM ループアンテナ(付属品)は、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、受信の妨げになる場合があるため、ループアンテナは電気製品(本機を含む)や、他のケーブルからできるだけ離して設置してください。
- アンテナは、一般的に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

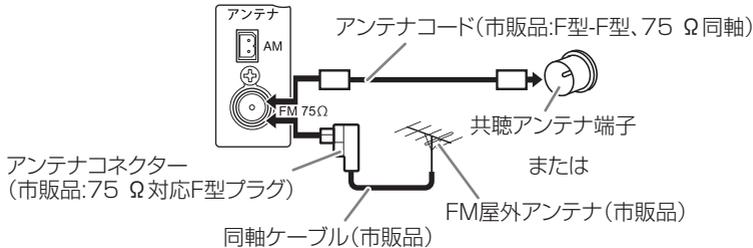
FM アンテナを接続する

FM アンテナの接続

FM簡易型室内アンテナ(付属品)
最も受信状態の良い位置と方向に
まっすぐ伸ばして、画びょうやテープ
などでとめてください。



マンションなどの壁の共聴アンテナ端子または FM 屋外アンテナを使うとき



- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- 実際の放送を聴きながら、アンテナの設置場所を決めてください。

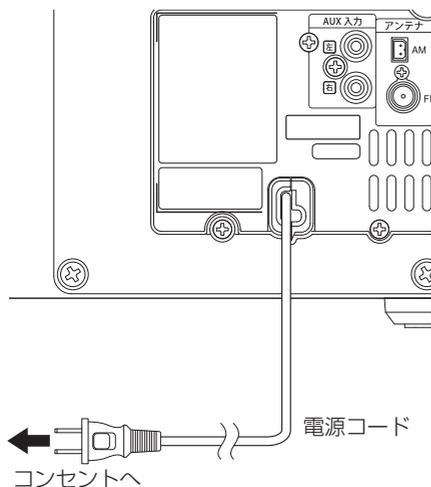
ご注意

- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機の FM 端子を接続している場合は、FM 放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

電源コードを接続する

電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。

本体背面



お知らせ

- コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを装着する前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。
ワイヤレスヘッドホンを接続する場合は、BLUETOOTH 送信機能を使用してください。(p. 36)

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の 3.5mm ステレオミニプラグ(3 極タイプ)のヘッドホンをお使いください。

本体背面



基本操作

電源を入れる／切る

リモコン

電源



本体



お知らせ

- 各ソース(音源)ボタンを押して電源を入れることもできます。

スタンバイモードを切り換える

本機では、2種類のスタンバイモードを設定できます。

本機の電源が切れているとき(スタンバイ中)に

BTスタンバイ



(くり返し押す)

- BLUETOOTH スタンバイモード:
STANDBY インジケーターが消灯し、ディスプレイに「BLUETOOTH Stby」が表示されます。
本機の電源が切れているときでも、BLUETOOTH 機器と接続できます。また、USB 機器を充電できます。
- ノーマルスタンバイモード:
STANDBY インジケーターが赤色に点灯し、表示部には何も表示されません。
節電状態になります。本機の電源が切れているときは、BLUETOOTH 機器と接続できません。

時計を合わせる

1 時計設定表示にする

時計/タイマー



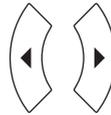
☼Sun☼

☼0:00☼

2 時計設定を開始する



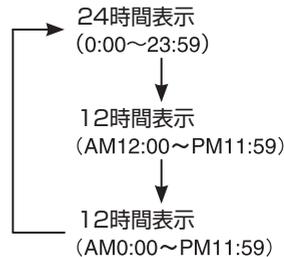
3 「曜日」を合わせる



(くり返し押す)



4 手順3と同じ操作で、24時間表示または12時間表示を選ぶ



5 手順3と同じ操作で、「時」を合わせる

6 手順3と同じ操作で、「分」を合わせる

お知らせ

- 本機の時計は月に1、2分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。
- 電源を抜いたり、停電で電源が切れたりした場合は、時計を合わせ直してください。

いろいろなソース(音源)を聴く

1 ソース(音源)を選ぶ

リモコン

BLUETOOTH



USB



CD



TUNER



DIGITAL IN



AUX



本体

SOURCE



(くり返し押し)

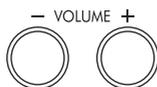
2 音量を調節する

リモコン



(くり返し押し)

本体



(くり返し押し)

- ・調節範囲: Min(0) ~ Max(31)
- ・[+] / [-] (音量) ボタンを押し続けると、連続して変わります。

一時的に消音する

消音



「MUTING」アイコンが点灯します。

お知らせ

- ・もう一度押すか、音量を調節すると、消音解除されます。
- ・ソース(音源)を切り換えると、消音解除されます。

表示部の明るさを変える

ディマー



(くり返し押し)

押すたびに表示部の明るさが切り換わります。



お知らせ

- ・お買い上げ時の設定は、「Dimmer Off」です。
- ・設定は電源を切っても記憶されます。

表示される情報を変える

表示



(くり返し押す)

押すたびに各種の情報表示に切り換わります。

お知らせ

- ソース(音源)によって、表示される情報は異なります。
- USB メモリー内にある MP3 / WMA / FLAC ファイル、または CD 内にある MP3 ファイルの再生中は、ファイル名 → フォルダー名 → 曲名 → アーティスト名 → アルバム名の順番に切り換えることができます。
- USB メモリー内にある WAV ファイルの再生中は、ファイル名 → フォルダー名の順番に切り換えることができます。
- 表示される文字は半角英数字と半角カタカナのみです。漢字などの文字は「*」と表示されます。
- 推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)内にあるボイストラック再生中は、タイトル名(曲名) → アーティスト名 → アルバム名の順に切り換えることができます。

音質を設定する

サウンドモードを使う

音の種類に合わせて、サウンドモードを選べます。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は、「FLAT」です。
- サウンドモードの切り換え時に、音声が一時的に消音されます。

ロック／バラードに合わせた音質にする

MUSIC



(くり返し押す)

一度押すと現在の設定を約 5 秒間表示し、さらに押すと以下のように設定が切り換わります。

ROCK : ロック系の音楽作品を聴くとき

BALLADE : バラード系の音楽作品を聴くとき

アニメ作品に合わせた音質にする

ANIME



(くり返し押す)

一度押すと現在の設定を約 5 秒間表示し、さらに押すと以下のように設定が切り換わります。

DYNAMIC : 躍動感のあるアニメ作品を聴くとき

SENSITIVE : 繊細なシーンが描かれるアニメ作品を聴くとき

ライブ会場にいるような音質にする

LIVE



(くり返し押す)

一度押すと現在の設定を約 5 秒間表示し、さらに押すと以下のように設定が切り換わります。

ARENA : 広いライブ会場のアリーナ席にいるような音質でライブ作品を聴くとき

LIVE HOUSE : ライブハウスにいるような音質でライブ作品を聴くとき

STREAMING : 演奏会場にいるような音質でライブストリーミングを聴くとき

ラジオ／朗読劇・ドラマ CD／トークイベントに合わせた音質にする

TALK



(くり返し押す)

一度押すと現在の設定を約 5 秒間表示し、さらに押すと以下のように設定が切り換わります。

READING : 現地の臨場感と繊細な音質で朗読劇やドラマ CD を聴くとき

RADIO TALK : 収録スタジオ内にいるような音質でラジオ放送を聴くとき

TALK SHOW : トークイベント会場にいるような音質でライブトークを聴くとき

推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)の音質にする

お知らせ

- あらかじめ、推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)を使用して、サウンドモードを本機に書き込んでください。(p. 20)
- 書き込まれていないと動作しません。

OSHI

推

(くり返し押す)

一度押すと現在の設定を約 5 秒間表示し、さらに押すと、書き込まれた推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)のサウンドモードに設定が順番に切り替わります。(最大 8 モード)

サウンドモードの内容は、推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)の取扱説明書を確認してください。

※『推し声オーディオ専用 USB メモリー』 声優 A の場合の例

セイユウ A MUSIC

セイユウ A LIVE2023

セイユウ A ロウドクゲキ

セイユウ A ラジオ

フラットな音質にする

FLAT



約 5 秒間「FLAT」と表示され、フラットな音質になります。

サウンドモードの効果を強調する

音量が小さいときや、お部屋の環境にあわせて声が聴きやすくなるよう効果を強調させることができます。

サウンドモードの設定中に

Hi



設定中のサウンドモード名の後ろに「+Hi」と表示され、サウンドモードの効果が強調されます。

サウンドモードの効果を強調を解除する

サウンドモードの効果を強調を設定中に

Hi



設定中のサウンドモード名の後ろから「+Hi」の表示が消え、サウンドモードの効果を強調が解除されます。

サウンドモードの設定を確認する

サウンドモードの設定中に

サウンド表示



約 5 秒間、選択中のサウンドモードを表示します。

サウンドモードをアップデートする

推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)に入っているサウンドモードを本機に書き込みます。

本機に書き込まれたサウンドモードは、OSHI(推)ボタンで選択できます。(p. 19)

1 ソース(音源)を「USB」にする

リモコン

USB



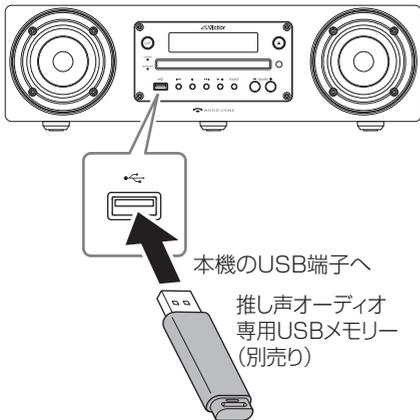
本体

SOURCE



(くり返し押す)

2 推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)を USB 端子に接続する



- 挿入された USB メモリーが正規品の推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)かどうかを本機が識別すると、表示部に「ハロー OSHIGOE USB」と表示されます。

ご注意

- 正規品の推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)以外は、認識しません。

3 ID 登録を行う(初回のみ)

- 推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)を認識すると、ID 入力表示に切り換わります。
- リモコンの数字ボタンを使用して、4 桁の ID を入力します(照合を含め 2 回入力します)。

お知らせ

- 推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)を本機とはじめて接続するときは、ID 登録が必要になります。お客様が選んだ 4 桁の ID (暗証番号)を本機に登録することで、推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)に ID が自動的に登録され、以後、同じ ID が登録された機器同士のみで使用することができます。

ご注意

- 登録した ID は大切に保管し、他の暗証番号などと同じものは使用しないでください。

(メモ欄をご活用ください)

<登録IDメモ欄>

--	--	--	--

4 「ID トウロク OK」が表示されたら、サウンドモードをアップデートする

- UPDATE ボタンを約 5 秒間押し続けます。

UPDATE



(約 5 秒間押し続ける)

- 「アップデート」と表示され、サウンドモードがアップデートされます。

5 「アップデート OK」と表示されたら、推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)を抜く

お知らせ

- 別の押し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)でアップデートすると、現在の OSHI(推) ボタンのサウンドモードは上書きされます。
- 押し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)使用時に不具合が発生した際は、「故障かな?と思ったら」(p. 52, 55)をご参照ください。また、修理・点検の際は、ID(暗証)番号を登録した本機が必要となります。
- ID 登録手順の詳細は、押し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)の Web 取扱説明書をご確認ください。

押し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)の Web 取扱説明書はこちらから。

<https://www.victor.jp/support/manual/usb-va/>



- 本機に書き込まれるのはサウンドモードのみです。ボイストラックを聴くときは、押し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)を挿したままで再生してください。

BLUETOOTH 機器を聴く

お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH 機器と本機をペアリング(登録)してください。

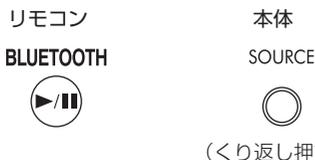
BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を初めて接続するときは、以下の方法でペアリングしてください。

1 本機を BLUETOOTH 受信状態にする

電源が切れているときは、BLUETOOTH スタンバイにしてください。(p. 15)

電源が入っているときは、ソース(音源)を「BLUETOOTH」に切り換えてください。



- BLUETOOTH インジケーター(白色)が点滅します。

2 相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

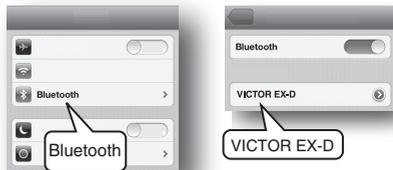
- ① 「設定」→「無線とネットワーク」の順にタップする
- ② 「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
- ③ 「Bluetooth 設定」→「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の操作例

以下のいずれかの手順を参考にしてください。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップする
または、
「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップする
上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

3 相手機器で「VICTOR EX-D」を選ぶ

iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の画面例



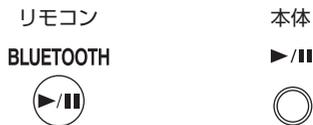
ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。

ディスプレイに「Connected」と表示され、BLUETOOTH インジケーター(白色)が点滅から点灯になり、「▶ ◀」アイコンが点灯します。

- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

4 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。



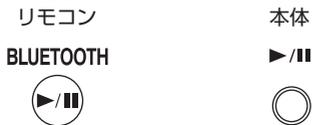
- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

お知らせ

- ソース(音源)を BLUETOOTH に切り換えると、本機と最後に接続した相手機器と再接続します。
- 接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- 相手機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- 本機の音量は、相手機器の音量と連動していません。
- 相手機器との接続を解除した後、本機の音量は接続前の状態に戻ります。音量設定に注意してください。

BLUETOOTH 機器の基本操作

再生する



一時停止する



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ



リモコンの[◀] / [▶] ボタンを押して、曲を選ぶこともできます。

早戻し／早送りする

再生中に



通常再生に戻すには、ボタンをはなします。

リモコンの[◀] / [▶] ボタンを押し続けて、曲を早戻し／早送りすることもできます。

接続を解除する

相手機器の BLUETOOTH 接続をオフにします。ディスプレイに「Disconnect」と表示され、接続が解除されます。

BLUETOOTH インジケータ(白色)および▶ ◀ アイコンが点灯から点滅に変わります。

お知らせ

以下の場合も、自動的に接続が解除されます。

- ・本機または相手機器の電源を切ったとき
- ・他のソース(音源)に切り換えたとき

他の BLUETOOTH 機器を接続する

ペアリング



(押し続ける)

ディスプレイに「Disconnect」と表示されます。

BLUETOOTH インジケータ(白色)が点灯から点滅に変わり、▶ ◀ アイコンが点滅し、ペアリング待機状態になります。

他の BLUETOOTH 機器を接続してください。

ご注意

- ・電波状況によって音声途切れたり、詰まって聞こえたりする場合があります。本機または接続機器の設置位置を変更してください。
- ・BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- ・iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- ・本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- ・BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- ・BLUETOOTH 機器によっては、操作(再生、一時停止、選曲、早戻し/早送り)ができない場合があります。
- ・BLUETOOTH 機器によっては、「Disconnect」と表示されない場合があります。
- ・相手機器のイコライザ機能がオンになっていると、音声が歪む場合がありますので、オフにしてください。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解/改造すること
- 本機の証明表示(☑)を改変すること

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
- FH : FH-SS 変調方式を表します。
- 1 : 電波干渉距離は 10 m です。
- : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。

- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

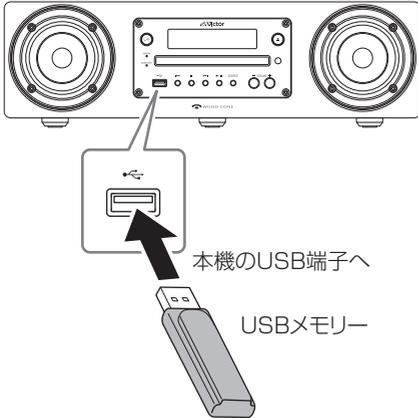
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

USB メモリー / CD を聴く

USB メモリー / CD を準備する

USB メモリーを聴くとき

USB メモリーを接続する



接続すると、USB メモリー内にあるファイル数の合計が表示されます。

ファイル数の合計が 999 以上の場合、実際のファイル数にかかわらず「---」と表示されます。

ご注意

- USB メモリーは、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルやファイルシステムが壊れて、USB メモリー内の音楽やその他のデータが使用できなくなる場合があります。
- iPod、iPhone、Android 端末、ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。BLUETOOTH 接続(p. 22)または本機の AUX 入力端子に接続してください。(p. 35)
- 初めて推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)を使用するときは、ID の登録が必要となります。(p. 20)

CD を聴くとき

1 CD トレイを開ける

リモコン

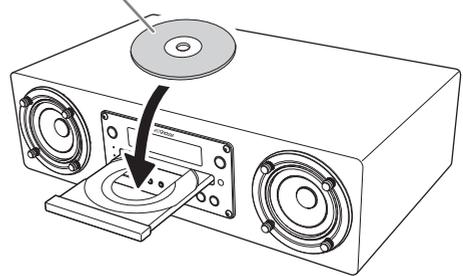
本体

CD開/閉



2 CD を入れる

レーベル面



3 CD トレイを閉める

リモコン

本体

CD開/閉



- CD 認識中は「CD Reading」と表示されます。

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)に[▲]ボタンを押すと、電源が入り CD トレイが開きます。

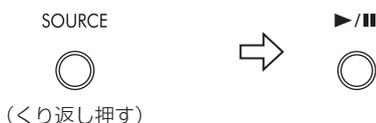
USB メモリー / CD の基本操作

再生する

リモコン



本体



- ソース(音源)が「USB」のときは「USB」アイコン、「CD」のときは「CD」アイコンが点灯します。
- MP3 ファイルを再生するときは「MP3」アイコン、WMA ファイルを再生するときは「WMA」アイコンが点灯します。
- MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルを再生するときは、ファイル情報が表示されます。

お知らせ

- WAV / FLAC ファイルは CD では再生できません。

一時停止する



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

停止する



お知らせ

- 音楽 CD の停止中は「DISC TOTAL」アイコンが点灯し、CD の全体の再生時間が表示されます。
- MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルは、停止後再び再生すると、再生していた曲の先頭から再生します(リジューム機能)。停止中にもう一度 [■] ボタンを押すと、リジューム機能は解除されます。

曲を選ぶ



リモコンの[◀] / [▶] ボタンを押して、曲を選ぶこともできます。

数字ボタンで曲を選ぶ

リモコンの数字ボタンを押して、曲を選びます。

例:

- 3 曲目を選ぶとき: ③ を押す
- 17 曲目を選ぶとき: ≥ 10 を 1 回押してから、① ⑦ を押す
- 20 曲目を選ぶとき: ≥ 10 を 1 回押してから、② ⑩ を押す
- 123 曲目を選ぶとき: ≥ 10 を 2 回押してから、① ② ③ を押す (MP3 / WMA ファイルのみ)

早戻し／早送りする

再生中に



通常再生に戻すには、ボタンをはなします。

リモコンの[◀] / [▶] ボタンを押し続けて、曲を早戻し／早送りすることもできます。

お知らせ

- MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルの場合は、早戻し／早送りの動作中に音が出ません。

フォルダー番号とファイル番号から曲を選ぶ (MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのみ)

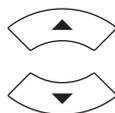
1 フォルダー番号とファイル番号を表示する



- フォルダーモードに切り換わり、「FOLD」アイコンが点灯します。

2 フォルダーとファイルを選ぶ

フォルダーを選ぶ



(くり返し押す)

ファイルを選ぶ



(くり返し押す)

- [▲] / [▼] ボタンでフォルダーを選んでから、リモコンまたは本体の[◀◀] / [▶▶] ボタンでもファイルを選ぶことができます。

3 再生する



プログラム再生をする

USB メモリーまたは CD の曲を 32 曲までお好みの順で再生します。

お知らせ

- プログラム再生の登録が 32 曲を超えると、「Prog Full」を表示します。

1 プログラムモードを表示させる 停止中に

プログラム

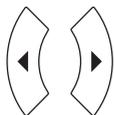


- 「Program」と表示され、「MEM」アイコンが点滅します。
- 「Program」表示は、数秒後に「P01」表示に変わります。

2 曲を選ぶ

音楽 CD の場合

リモコン



(くり返し押す)

本体

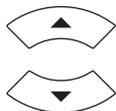


(くり返し押す)

MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルの場合

フォルダーとファイルを選ぶ

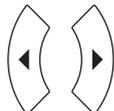
フォルダーを選ぶ



(くり返し押す)



ファイルを選ぶ



(くり返し押す)

- 「▲」 / 「▼」ボタンでフォルダーを選んでから、リモコンまたは本体の「◀◀」 / 「▶▶」ボタンでもファイルを選ぶことができます。

3 曲を登録する

プログラム



4 手順 2~3 をくり返して、他の曲を登録する

5 再生する

リモコン

本体

USB CD



▶/||



- プログラムした順序で曲が再生されます。

お知らせ

- 設定中は「MEM」アイコンが点滅、再生中は「MEM」アイコンが点灯します。

プログラム内容を確認する

プログラム再生停止中に

プログラム



(くり返し押す)

登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

1 プログラム内容の確認モードを表示させる プログラム再生停止中に



- ・「MEM」アイコンが点滅します。

2 プログラム追加モードを表示させる



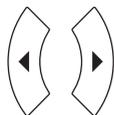
(押し続ける)

- ・プログラムした曲数の次の番号が表示されます (5 曲プログラムした場合は、6 曲目の登録画面が表示されます)。

3 曲を選ぶ

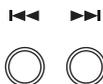
音楽 CD の場合

リモコン



(くり返し押す)

本体

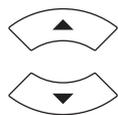


(くり返し押す)

MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルの場合

フォルダーとファイルを選ぶ

フォルダーを選ぶ



(くり返し押す)

ファイルを選ぶ



(くり返し押す)

- ・ [▲] / [▼] ボタンでフォルダーを選んでから、リモコンまたは本体の [◀◀] / [▶▶] ボタンでもファイルを選ぶことができます。

4 曲を登録する

プログラム



- ・プログラムの最後に曲が追加されます。

登録した曲を削除する

プログラム内容確認中に



表示中の曲が取り消されます。(1 曲削除)

お知らせ

- ・途中の曲を取り消したい場合は、[プログラム(メモリー)] ボタンをくり返し押しして取り消したい曲の番号を表示させ、[クリア] ボタンを押します。
- ・全曲削除したい場合は、次の「プログラム再生を解除する」をご覧ください。

プログラム再生を解除する

プログラム再生停止中に

リモコン

チューナーモード



本体



「Program Clear」が表示され、全てのプログラムの内容が消去されます。

- ・以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。

- 電源を切る
- ソース(音源)を変える
- ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
- ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす

リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ 再生中または停止中に

リピート



(くり返し押し)

Repeat : 現在の曲をくり返します。
One 設定中は「1」アイコンが点灯します。

Repeat : USB メモリーまたは CD のすべての曲
All *1 をくり返します。
設定中は「」アイコンが点灯します。

Repeat : 現在のフォルダーの曲をくり返します。
Folder *2 設定中は「」アイコンと「1FOLD」アイコンが点灯します。

Normal : リピート再生を解除します。

*1 フォルダーモード選択時以外

*2 フォルダーモード選択時のみ

2 (停止中のときは)再生する

リモコン



本体



お知らせ

- プログラム再生中に「Program Repeat」にすると、プログラムをリピート再生します。

リピート再生を解除する

再生中または停止中に

「Normal」を選ぶ

リピート



(くり返し押し)

- 以下の場合もリピート再生は解除されます。

- 電源を切る
- ソース(音源)を変える
- ランダムボタンを押す

ランダム再生をする

再生中または停止中に

「Random」を選ぶ

ランダム



- ランダムモードが設定されると「RDM」アイコンが点灯します。
- フォルダーモードのときは、フォルダー内ランダムになります。
- ランダム再生中に[◀◀]ボタンを押しても、前の曲に戻ることはできません。
- プログラム再生中はランダム再生はできません。

お知らせ

- 本機がランダム再生を行うのは USB メモリー 1 つあたり最大 1023 ファイルです。最大ファイル数を超えたファイルはランダム再生されません。
- ランダム再生をリピートさせることはできません。

ランダム再生を解除する

再生中または停止中に

「Normal」を選ぶ

ランダム



- 以下の場合もランダム再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - リピートボタンを押す

チャイルドロックを使う

本機に入れたディスクを取り出せないようにロックすることができます。

チャイルドロックを設定する

ソース(音源)が「CD」のときに、CDトレイにディスクが入った状態で、以下の操作をしてください。

1 [■] ボタンを約 5 秒間押し続ける

リモコン

チューナーモード



(約 5 秒間押し続ける)

本体



(約 5 秒間押し続ける)

2 電源(電源)ボタンを押す

リモコン

電源



本体



- ・「Locked」と表示されます。

チャイルドロックを解除する

設定時と同じ操作をしてください。

- ・「Unlocked」と表示されます。

ラジオを聴く

ラジオを聴く前に、必ずアンテナを接続してください。
(p. 12、13)

お知らせ

- 本機は、FM ラジオで AM ラジオの一部が聴ける「ワイド FM」に対応しています。

放送局を受信する

受信方法は、オートとマニュアルの 2 種類があります。

1 ソース(音源)を「FM」または「AM」にする

リモコン

TUNER



(くり返し押す)

本体

SOURCE



(くり返し押す)

- 受信すると「▶●◀」アイコンが点灯します。
- ステレオ信号を受信すると「ST ●」アイコンが点灯します。

2 選局方法(オート選局またはマニュアル選局)を選ぶ

リモコン

チューナーモード



(くり返し押す)

本体

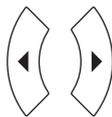


(くり返し押す)

- 電波状態の良い場合はオート選局を選びます。(FM のときに、「ST ●」アイコンが点灯します)
- 電波状態の悪い場合はマニュアル選局を選びます。(FM のときに、「ST ●」アイコンが消灯します)

3 放送局を選ぶ

オートで選ぶ場合

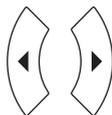


(約 2 秒間押し続ける)

押し続けると自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。

- 選局中は「▶ ◀」アイコンが点滅します。
- 選局を途中で停止したいときは、もう一度押します。

マニュアルで選ぶ場合



(くり返し押す)

- くり返し押すと、FM では 0.1 MHz ずつ、AM では 9 kHz ずつ受信周波数が変わります。

お知らせ

- FM ステレオ放送が聴きにくいときは、モノラル受信にすると聴きやすくなります。
- オート選局ではステレオ受信、マニュアル選局ではモノラル受信になります。
- モノラル受信では、受信状態は改善されますがステレオ効果は失われます。
- ワイド FM とは、AM の電波が受信しづらい、鉄骨の建物内・ビルや山に囲まれた地域、外国からの混信などの難聴および災害対策のため、AM 放送の番組を FM 放送の拡張帯域 (90~95MHz) で再送信する放送サービスです。
- ワイド FM ですべての AM 放送が受信できるものではありませんが、お住まいの地域によって受信可能な放送局・周波数が異なりますので、新聞の番組表や、お聴きになりたい放送局のホームページなどでご確認ください。
- 音声信号は本機内部の DSP などを経由しているため、多少遅れてスピーカー(ヘッドホン)に出力されます。ラジオの時報なども多少遅れて聞こえます。

受信状態を改善する(アンテナ調整)

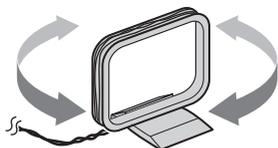
受信状態が良くないときは、放送を聴いて確認しながら、FM 簡易型室内アンテナ(付属品)や AM ループアンテナ(付属品)を調整してください。

ご注意

- 集合住宅など鉄骨構造の住宅では、電波が遮られるため、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、FM 簡易型室内アンテナ(付属品)や AM ループアンテナ(付属品)を窓際に近づけてください。
- FM 簡易型室内アンテナ(付属品)で放送を良好に受信できない場合は、市販の屋外用の FM アンテナの設置をおすすめします。
- AM 放送の受信の妨げになる場合があるため、ループアンテナは電気製品(本機を含む)や、他のケーブルからできるだけ離して設置してください。

AM アンテナを調整する

AM ループアンテナ(付属品)をできるだけ窓の近くに置き、左右に回して、最も受信状態の良い方向に調整します。



AMループアンテナ(付属品)

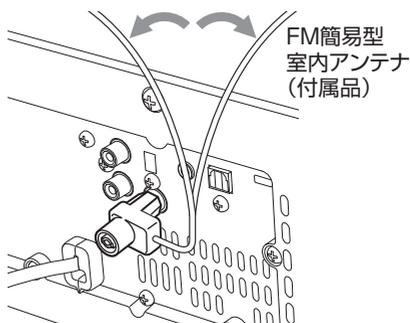
FM アンテナを調整する

FM 簡易型室内アンテナ(付属品)調整し、固定します。

1 FM 放送を聴きながら、FM アンテナの位置を調整する

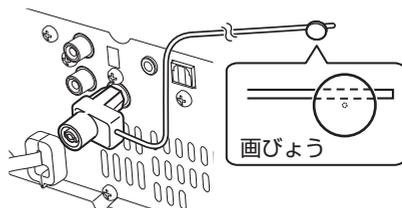
高さや方向を変えて、最も受信状態の良い位置を見つけます。

FM 簡易型室内アンテナ(付属品)はできるだけ窓の近くや、屋外に面した壁側に設置することをおすすめします。



2 画びょうやテープなどで、アンテナの先を軽くはさんでとめる

FM簡易型室内アンテナ(付属品)



ご注意

- 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないようにご注意ください。
- FM 簡易型室内アンテナ(付属品)が結ばれている場合は、ほどいてまっすぐに伸ばしてください。

放送局を記憶させる(プリセット)

FM および AM の放送局を、あわせて最大 40 局まで記憶させることができます。

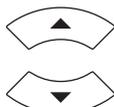
- 1 記憶させたい放送局を受信する
- 2 プリセット番号を表示する

プログラム
□



・「MEM」アイコンとプリセット番号が点滅します。点滅している間に、以下の操作をしてください。

- 3 記憶させたいプリセット番号を選ぶ



(くり返し押す)

- 4 記憶させる

プログラム
□

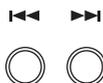
記憶した放送局を呼び出す

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

・ 数字ボタンでもプリセット番号を選べます。
例:

- 3 番目を選ぶとき: ③
- 17 番目を選ぶとき: ≥10 ①⑦

記憶した放送局を自動で検索する

記憶された放送局は、自動で検索することができます。(プリセットメモリスキャン)

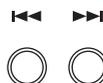
- 1 放送局を検索する

リモコン



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

・ プリセット番号が点滅し、記憶された放送局が順番に切り換わります。

- 2 お好みの放送局が受信されたら、もう一度 [◀] / [▶] ボタンを押す

お知らせ

・ プリセット番号を消去するには、ソース(音源)を TUNER にして、[クリア] ボタンを押し続けてください。全てのプリセット番号が消去されます。

外部機器を聴く

外部機器を接続する

お使いの外部機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

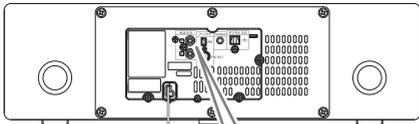
- 本機は PCM 信号のみに対応しています。本機のデジタル入力端子に接続するときは、外部機器のデジタル音声出力の設定を確認し、PCM 信号が出力されるように設定してください。

1 本機の音量を最小にする

2 本機に外部機器を接続する

- デジタルオーディオプレーヤーなどアナログ音声出力端子がある外部機器の場合は、本機の AUX 入力端子に、オーディオコード(市販品)を使用して接続します。

本体背面



AUX入力端子へ

デジタルオーディオプレーヤー
(ウォークマンなど)



オーディオコード
(市販品)

アナログ音声出力端子へ

- テレビなど光デジタル出力端子がある外部機器の場合は、本機の光デジタル入力端子に、光デジタルケーブル(市販品)を使用して接続します。



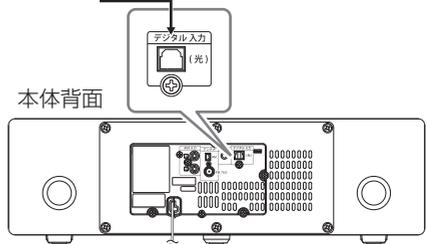
テレビなど

光デジタル出力端子へ

※テレビなどのデジタル音声出力をPCM信号が出力されるように設定してください。

光デジタルケーブル(市販品)

デジタル入力端子へ



外部機器を聴く

1 ソース(音源)を切り換える

AUX 入力端子に外部機器を接続している場合は、「AUX」に切り換えます。

デジタル入力(光)端子に外部機器を接続している場合は、「DIGITAL IN」に切り換えます。



(くり返し押す)

2 外部機器を再生する

3 音量を調節する

お知らせ

- 本機で再生できるデジタル信号は、PCM(32 kHz ~ 192 kHz)です。
- 音声信号は本機内部の DSP などを経由しているため、多少遅れてスピーカー(ヘッドホン)に出力されます。テレビのスピーカーなどと同時に音声を出力すると、エコーが掛かったように聞こえますので、テレビと接続する場合は、テレビの音声を絞ってお使いください。

BLUETOOTH 送信機能を使う

以下のソース(音源)を BLUETOOTH 接続でお手持ちのワイヤレスヘッドホンに送信して、聴くことができます。

- USB メモリー
- CD
- ラジオ放送
- 外部機器

ご注意

- BLUETOOTH 機器の音は送信できません。

ワイヤレスヘッドホンを接続する

初めて接続する

1 BLUETOOTH 送信したいソース(音源)を選ぶ

- 「USB」、「CD」、「FM」、「AM」、「DIGITAL IN」、「AUX」から選びます。
- CD、USB メモリーの停止中に接続できます。

2 ワイヤレスヘッドホンの電源を入れ、ペアリングができる状態にする

- ワイヤレスヘッドホンによって、操作方法は異なります。詳しくは、お使いのワイヤレスヘッドホンの取扱説明書をご覧ください。

3 BLUETOOTH 送信を開始する

BT送信



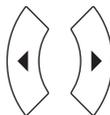
- 「Headphone Link」と表示されます。

4 ワイヤレスヘッドホンを検索する

決定

- 「Search Start」と表示され、BLUETOOTH インジケーター(青色)が点滅します。
- ワイヤレスヘッドホンの検索中は、「Searching」と表示されます。【■】ボタンを押すと、検索を中止して、元の表示に戻ります。
- 検索が終了すると、接続できるワイヤレスヘッドホンの機種名が表示されます。
- ワイヤレスヘッドホンの機種名は、最大 10 件まで表示されます。

5 ワイヤレスヘッドホンの機種名を選び、接続する



決定

(くり返し押す)

- ペアリングが完了し、BLUETOOTH インジケーター(青色)が点灯します。

6 停止中のときは、BLUETOOTH 送信したいソース(音源)を再生する

お知らせ

- BLUETOOTH 送信中に、BLUETOOTH 以外のソース(音源)に切り換えても、接続は解除されません。BLUETOOTH に切り換えると、接続が解除されます。
- 接続できないときや、ワイヤレスヘッドホンから音が出ないときは、ワイヤレスヘッドホンの電源を切って、最初からやり直してください。
- ワイヤレスヘッドホンによっては、本機と接続できない場合があります。
- ワイヤレスヘッドホンで本機を操作する機能には対応していません。
- BLUETOOTH 送信機能の対応コーデックは SBC です。
- DSP 処理をしているため、音声信号は多少遅れてワイヤレスヘッドホンに出力されます。外部機器を BLUETOOTH 送信する場合は、テレビなどの機器側で調整してください。

2回目以降に接続する

1 BLUETOOTH 送信したいソース(音源)を選ぶ

- ・「USB」、「CD」、「FM」、「AM」、「DIGITAL IN」、「AUX」から選びます。
- ・CD、USB メモリーの停止中に接続できます。

2 ワイヤレスヘッドホンの電源を入れ、ペアリングができる状態にする

- ・ワイヤレスヘッドホンによって、操作方法は異なります。詳しくは、お使いのワイヤレスヘッドホンの取扱説明書をご覧ください。

3 BLUETOOTH 送信を開始する

BT送信



- ・「Search ???」と表示されます。
- ・以前にペアリングしている場合は、自動的に前回接続したワイヤレスヘッドホンと再度接続されます。
- ・前回とは別のワイヤレスヘッドホンを接続したい場合は、次の手順に進んでください。

4 ワイヤレスヘッドホンを検索する



- ・「Search Start」と表示され、BLUETOOTH インジケーター(青色)が点滅します。
- ・ワイヤレスヘッドホンの検索中は、「Searching」と表示されます。[■] ボタンを押すと、検索を中止して、元の表示に戻ります。
- ・検索が終了すると、接続できるワイヤレスヘッドホンの機種名が表示されます。
- ・ワイヤレスヘッドホンの機種名は、最大 10 件まで表示されます。

5 ワイヤレスヘッドホンの機種名を選び、接続する



(くり返し押す)

- ・ペアリングが完了し、BLUETOOTH インジケーター(青色)が点灯します。

6 停止中のときは、BLUETOOTH 送信したいソース(音源)を再生する

お知らせ

- ・BLUETOOTH 送信中に、BLUETOOTH 以外のソース(音源)に切り換えても、接続は解除されません。BLUETOOTH に切り換えると、接続が解除されます。
- ・接続できないときや、ワイヤレスヘッドホンから音が出ないときは、ワイヤレスヘッドホンの電源を切って、最初からやり直してください。
- ・ワイヤレスヘッドホンによっては、本機と接続できない場合があります。

ワイヤレスヘッドホンとの接続を解除する

ワイヤレスヘッドホンの BLUETOOTH 接続をオフにします。

ディスプレイに「Disconnect」と表示され、接続が解除されます。

BLUETOOTH インジケーター(青色)が消灯します。

お知らせ

以下の場合も、自動的に接続が解除されます。

- ・本機またはワイヤレスヘッドホンの電源を切ったとき
- ・ソース(音源)を「BLUETOOTH」に切り換えたとき

他のワイヤレスヘッドホンを接続する

BT送信



(押し続ける)

ディスプレイに「Disconnect」と表示されます。

BLUETOOTH インジケーター(青色)が消灯します。

他のワイヤレスヘッドホンを接続してください。

USB メモリーに録音する

本機では、音楽 CD、ラジオ放送、外部機器(AUX 入力)の音を USB メモリーに録音することができます。

あなたがラジオ放送や CD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ご注意

- 2GB 以下の USB メモリー (FAT16) では正常にご使用いただけません。4GB 以上 (FAT32) のものをご利用ください。
- USB メモリーの容量は 16GB 以下を推奨します。
- 録音する前に、空き容量が十分にある USB メモリーを USB 端子に接続してください。(p. 25)
- USB メモリーによっては、お使いいただけないことがあります。その場合は、別の USB メモリーをお試しください。
- 別の機器で使った USB メモリーは、パソコンでファイルシステムを「FAT32」形式でフォーマットしてからお使いください。
- 録音中は、USB メモリーを抜かないでください。USB メモリー内の音楽が再生できなくなる場合があります。
- お使いの USB メモリーによっては、録音中に本機から再生される音声が途切れることがあります。
- BLUETOOTH 機器から録音することはできません。
- スリープタイマー動作中に録音を開始した場合は、スリープタイマーが解除されます。

お知らせ

- 録音中に本機の音量や音質を変えても、録音される音声には影響ありません。
- 本機では、ファイル(曲)の削除、分割、名称変更、タグ情報の変更などはできません。パソコンなどをご利用ください。
- SD カードリーダーを使用しての録音は対応していません。
- BLUETOOTH 送信機能(p. 36)を使って、録音中の音声をワイヤレスヘッドホンで聴くこともできます。
- 推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)には録音できません。

録音できる時間の目安

容量	128kbps	192kbps
4GB	約 67 時間	約 45 時間
8GB	約 135 時間	約 90 時間
16GB	約 270 時間	約 180 時間

録音音質を設定する

1 設定したいソース(音源)を選ぶ

- 「CD」、「TUNER」、「AUX」から選びます。

2 「Bit Rate」を選ぶ

録音モード

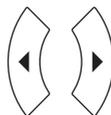


(くり返し押す)

3 録音音質の設定を開始する



4 「128kbps」または「192kbps」を選ぶ



(くり返し押す)

- リモコンの[◀] / [▶] ボタンの代わりに、リモコンまたは本体の[◀◀] / [▶▶] ボタンで設定項目を選ぶこともできます。

お知らせ

- 「CD」で録音音質を設定するときは、再生を停止してください。

録音モードを設定する

外部機器の録音音量を設定する

1 ソース(音源)を「AUX」にする

リモコン

本体

AUX

SOURCE



(くり返し押す)

2 「Rec Level」を選ぶ

録音モード

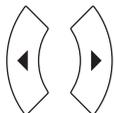


(くり返し押す)

3 録音音量の設定を開始する



4 お好みの音量を選ぶ



(くり返し押す)

- リモコンの[◀] / [▶] ボタンの代わりに、リモコンまたは本体の[◀◀] / [▶▶] ボタンで設定項目を選ぶこともできます。

- Rec Level 選択範囲: -9～+9

録音ファイルを自動分割する

ラジオや外部機器の録音中に、録音ファイルを 15 分または 30 分ごとに自動分割できます。

1 ソース(音源)を「TUNER」または「AUX」にする

リモコン

本体

TUNER

AUX

SOURCE



(くり返し押す)

2 「Time Mark」を選ぶ

録音モード

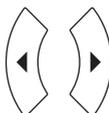


(くり返し押す)

3 自動分割の設定を開始する



4 希望の分数を選択する



(くり返し押す)

- リモコンの[◀] / [▶] ボタンの代わりに、リモコンまたは本体の[◀◀] / [▶▶] ボタンで設定項目を選ぶこともできます。

- 曲が区切られるとき、約 2 秒間音が途切れます。

録音ファイルを手動分割する

ラジオや外部機器の録音中に、録音ファイルをお好みの場所や長さで分割できます。

ラジオや外部機器の録音中に

USB録音



- 「New file」と表示され、録音は手動で分割されます。
- 手動分割では、5 秒以下で分割することはできません。一度分割したら 5 秒お待ちください。

お知らせ

- ソース(音源)が「CD」のときは、「Rec Level」と「Time Mark」は表示されません。
- 設定は電源を切っても記憶されます。
- 外部機器の録音ファイルの音量が小さすぎたり大きすぎるときは、外部機器の録音音量を調整してください。

CD を録音する

ご注意

- MP3/WMA ファイルを記録した CD-R など、音楽 CD 以外のディスクから録音することはできません。
- 録音中に本機に衝撃を与えたり、揺らしたりしないでください。録音が正常に行われず、録音できない可能性があります。
- 「CD Reading」中は録音を開始できません。「CD Reading」が完了するのをお待ち下さい。

お知らせ

- 音楽を聴きながらの等速録音です。
- 録音時、CD のランダム再生やリピート再生はできません。
- プログラム録音はできません。

音楽 CD を全曲録音する

1 ソース(音源)を「CD」にする

リモコン

CD



本体

SOURCE



(くり返し押す)

2 再生を停止する

リモコン

チューナーモード



本体

■



3 録音する

USB録音



- CD が再生されると同時に録音が始まります。
- 録音中は「●」が表示されます。
- 全曲再生後に CD と USB は停止します。
- 途中で録音を停止したいときは「■」ボタンを押します。

お知らせ

- 曲ごとにファイルができます。

音楽 CD から 1 曲録音する

1 曲だけ選んで録音することもできます。

1 ソース(音源)を「CD」にする

リモコン

CD



本体

SOURCE



(くり返し押す)

2 再生を停止する

リモコン

チューナーモード



本体

■



3 録音をしたい曲を選ぶ

リモコン

- プリセット +



本体

◀▶



(くり返し押す)

(くり返し押す)

リモコンの[◀] / [▶] ボタンを押して、曲を選ぶこともできます。

4 録音する

USB録音



- 録音中は「●」が表示されます。
- 途中で録音を停止したいときは「■」ボタンを押します。

ラジオ／外部機器を録音する

ラジオ放送や外部機器(AUX入力)の音をUSBメモリーに録音することができます。

お知らせ

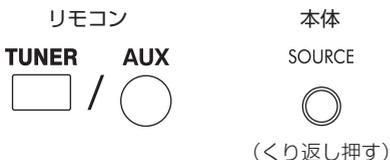
- 録音中に音量を変更しても録音に影響はありません。

録音する

ご注意

- 録音ファイルが2GB(約33時間:128kbpsの場合)に達すると、自動的に録音が区切られます。
- 曲が区切られるとき、約2秒間音が途切れます。

1 録音したいソース(音源)を選ぶ



2 録音一時停止状態にする



- 「●|| ソース名」が点滅してから、点灯します。点滅時間はUSBメモリーによって異なります。点灯状態になってから、操作手順3に進んでください。

3 録音を始めたいところで、録音を開始する



- 外部機器から録音する場合は、外部機器の再生を始めてください。
- 録音中は「● ソース名」が表示されます。

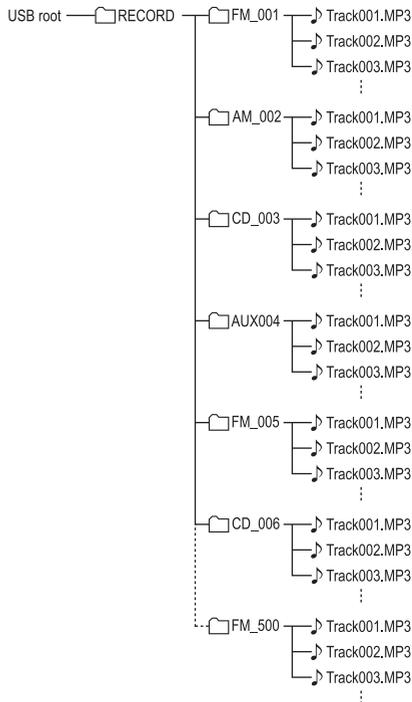
4 録音を停止する



録音ファイルの保存場所

本機で録音した曲は、ビットレートが128kbpsまたは192kbpsのMP3ファイルとして保存されます。

USBメモリーに「RECORD」フォルダーが自動的に生成され、その中に以下のようにMP3ファイルが作成されます。



ご注意

- ファイルは、ソース(音源)ごとにフォルダーにまとめられます。
- ファイルとフォルダーには、自動的に通し番号が付けられます。通し番号を指定することはできません。
- フォルダー名には、ソース(音源)の区別なく、通し番号が付けられます。
- FMステレオ放送とFMモノラル放送の区別なく、FM***(*は通し番号)フォルダーに保存されます。
- 録音で生成されるフォルダーの最大数は500です。
- 1フォルダーに保存できるファイルの最大数は998です。
- フォルダーが1つしかない場合でも、フォルダーの通し番号が500に達している場合は、フォルダー数が最大と認識されます。

タイマーを使う

再生タイマーを設定する

設定した時刻に電源が入り、お好みのソース(音源)を再生する機能です。

再生できるソース(音源)は、「CD」、「USB」、「AUX」、「TUNER」です。

本機には2種類の再生タイマー機能があります。

Once(1回)タイマー

あらかじめ設定した曜日の設定時刻に一度のみ、お好みのソース(音源)を再生します。「☺」アイコン表示

Daily(デイリー)タイマー

あらかじめ設定した曜日の同じ時刻にお好みのソース(音源)を再生します。例えば、毎朝の目覚まし時計としてタイマーを設定します。「DAILY」アイコン表示

ご注意

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(p. 15)
- あらかじめソース(音源)を準備し、動作することを確かめてください。
- Once タイマーと Daily タイマーを一緒に使用するとき、タイマーの終了時間と開始時間の間隔を2分以上あけて設定してください。

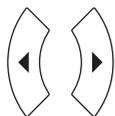
1 タイマー設定表示にする

時計/タイマー



(押し続ける)

2 「Once」または「Daily」を選ぶ



(くり返し押す)



- リモコンの[◀] / [▶] ボタンの代わりに、リモコンまたは本体の[◀◀] / [▶▶] ボタンで設定項目を選ぶこともできます。

3 手順2と同じ操作で、「Timer Set」を選ぶ

4 手順2と同じ操作で、「Play」を選ぶ

5 手順2と同じ操作で、ソース(音源)を選ぶ

- 「CD」、「USB」、「AUX」、「TUNER」から選びます。
- 「CD」、「USB」の場合は、「Reading」後[◀◀] / [▶▶] ボタンで開始させたいトラックを選び、リモコンの[リピート] ボタンでリピート再生の設定を選んでから、[決定] ボタンを押してください。
- 「TUNER」の場合は、[◀◀] / [▶▶] ボタンでプリセット番号(放送局)を選んでから、リモコンの[決定] ボタンを押してください。プリセット番号がない場合は、「No Preset」と表示され、タイマー設定が解除されます。

6 手順2と同じ操作で、曜日を設定する

- Once タイマーの場合は、曜日を選びます。
- Daily タイマーの場合は、開始の曜日と終了の曜日を選びます。
(例) 月曜日から金曜日を設定する場合は、「Mon-Fri」を選びます。

7 手順2と同じ操作で、時間を設定する

- 開始時刻と終了時刻を設定します。

8 手順2と同じ操作で、音量を設定する

- 音量まで設定が終わると、設定した内容がディスプレイに表示されます。

9 電源を切る

リモコン

本体

電源



- 再生タイマーの開始時刻になると、自動的に電源が入り、再生が始まります。
- 再生タイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- 再生タイマーが設定されていて、BLUETOOTH スタンバイのときは、Once タイマーの場合は「☺」アイコンが、Daily タイマーの場合は「DAILY」アイコンが点灯します。ノーマルスタンバイのときは、STANDBY インジケーターが赤色に点灯します。
- Once タイマーの作動中は「☺」アイコンが、Daily タイマーの作動中は「DAILY」アイコンが点滅します。
- Once タイマーは設定した曜日に一度のみ、Daily タイマーは設定した曜日に作動します。
- 開始時刻と終了時刻に、同じ時刻を設定することはできません。
- 「CD」、「USB」でリピートをオンに設定しても、スタンバイ時にリピートアイコンは消灯します(設定は電源を切っても記憶されます)。

お知らせ

- 再生タイマーの動作中もオートパワーセーブ(p. 46)は有効です。
- 再生タイマー作動中は、時計(p. 15)、スリープタイマー(p. 47)、再生/録音タイマー設定が無効になります。時計、スリープタイマー、再生/録音タイマー設定を変更したい場合は、再生タイマーの作動を中止するために電源を切り、もう一度電源を入れて設定してください。

録音タイマーを設定する

ラジオ放送をタイマー録音できます。
本機には2種類の録音タイマー機能があります。

Once(1回)タイマー

あらかじめ設定した曜日の設定時刻に一度のみ、お好みのラジオ番組を録音します。「[☉]」アイコン表示

Daily(デイリー)タイマー

あらかじめ設定した曜日と同じ時刻にお好みのラジオ番組を録音します。「[DAILY]」アイコン表示

ご注意

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(p. 15)
- Once タイマーと Daily タイマーを一緒に使用するときには、タイマーの終了時間と開始時間の間隔を2分以上あけて設定してください。

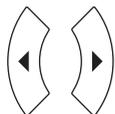
1 タイマー設定表示にする

時計/タイマー



(押し続ける)

2 「Once」または「Daily」を選ぶ



(くり返し押す)

- リモコンの[◀] / [▶] ボタンの代わりに、リモコンまたは本体の[◀◀] / [▶▶] ボタンで設定項目を選ぶこともできます。

3 手順2と同じ操作で、「Timer Set」を選ぶ

4 手順2と同じ操作で、「Rec」を選ぶ

5 「TUNER」と表示されたら、プリセット番号(放送局)の設定を開始する



6 手順2と同じ操作で、プリセット番号(放送局)を選ぶ

- プリセット番号がない場合は、「No Preset」と表示され、タイマー設定が解除されます。

7 手順2と同じ操作で、曜日を設定する

- Once タイマーの場合は、曜日を選びます。
- Daily タイマーの場合は、開始の曜日と終了の曜日を選びます。
(例) 月曜日から金曜日を設定する場合は、「Mon-Fri」を選びます。

8 手順2と同じ操作で、時間を設定する

- 開始時刻と終了時刻を設定します。

9 手順2と同じ操作で、音量を設定する

- 音量まで設定が終わると、設定した内容がディスプレイに表示されます。

10 電源を切る

リモコン

本体

電源



- 録音タイマーの開始時刻になると自動的に電源が入り、録音が始まります。
- 録音タイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- 録音タイマーが設定されていて、BLUETOOTH スタンバイのとき、Once タイマーの場合は「☉」アイコンが、Daily タイマーの場合は「[DAILY]」アイコンが点灯します。ノーマルスタンバイのときは、STANDBY インジケーターが赤色に点灯します。
- 録音タイマーの作動中、Once タイマーの場合は「☉」アイコンが、Daily タイマーの場合は「[DAILY]」アイコンが点滅します。
- Once タイマーは設定した曜日に一度のみ、Daily タイマーは設定した曜日に作動します。
- 開始時刻と終了時刻に、同じ時刻を設定することはできません。

お知らせ

- 録音タイマー作動中は、時計(p. 15)、スリープタイマー(p. 47)、再生/録音タイマー設定が無効になります。時計、スリープタイマー、再生/録音タイマー設定を変更したい場合は、録音タイマーの作動を中止するために電源を切り、もう一度電源を入れて設定してください。

再生／録音タイマーの共通設定について

再生／録音タイマーは、設定した内容の確認や解除、再設定などできます。操作方法は、再生／録音タイマー共通です。

再生／録音タイマーの設定を確認する

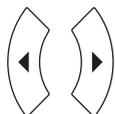
1 タイマー設定表示にする

時計/タイマー



(押し続ける)

2 確認したいタイマーを選ぶ



(くり返し押す)

- ・リモコンの[◀] / [▶] ボタンの代わりに、リモコンまたは本体の[◀◀] / [▶▶] ボタンで設定項目を選ぶこともできます。

3 手順 2 と同じ操作で、「Timer Call」を選ぶ

- ・設定内容が表示されます。

再生／録音タイマーを解除する

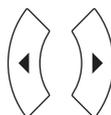
1 タイマー設定表示にする

時計/タイマー



(押し続ける)

2 解除したいタイマーを選ぶ



(くり返し押す)

- ・リモコンの[◀] / [▶] ボタンの代わりに、リモコンまたは本体の[◀◀] / [▶▶] ボタンで設定項目を選ぶこともできます。

3 手順 2 と同じ操作で、「Timer Off」を選ぶ

- ・設定が解除されます。

お知らせ

- ・ Once タイマーは、一度作動すると設定が解除されます。
- ・ Daily タイマーは、設定が解除されるまで続きます。使用しないときは、設定を解除してください。
- ・ タイマー作動中に設定を解除するときは、電源を切ってください。

解除した再生／録音タイマーを、内容を変えずに再設定する

1 タイマー設定表示にする

時計/タイマー



(押し続ける)

2 再設定したいタイマーを選ぶ



(くり返し押す)

- ・ リモコンの[◀] / [▶] ボタンの代わりに、リモコンまたは本体の[◀◀] / [▶▶] ボタンで設定項目を選ぶこともできます。

3 手順 2 と同じ操作で、「Timer On」を選ぶ

- ・ 設定内容が表示されます。

その他の機能

オートパワーセーブ(節電機能)を設定する

オートパワーセーブとは、以下のいずれかの状態で約15分間何も操作しない場合に、本機の電源を自動的に切る機能です。

ソース(音源)	本機の状態
BLUETOOTH	<ul style="list-style-type: none">• BLUETOOTH 機器を接続していないとき• 音声が入力されていないとき• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき
USB	<ul style="list-style-type: none">• USB メモリーを接続していないとき• 停止状態のとき• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき
CD	<ul style="list-style-type: none">• CD がないとき• 停止状態のとき• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき
FM、AM	<ul style="list-style-type: none">• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき
DIGITAL IN	<ul style="list-style-type: none">• 音声が入力されていないとき• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき
AUX	<ul style="list-style-type: none">• 音声が入力されていないとき• 音量が「Min」のとき• 消音しているとき

お知らせ

- お買い上げ時は、オートパワーセーブがオンに設定されています。
- 本機の電源が切れる約30秒前に「A.P.S.」表示が点滅を始めます。
- 途中でボタン操作をした場合は、その時点から15分後に電源が切れます。
- 録音中は、オートパワーセーブは動きません
- スリープタイマー作動中は、オートパワーセーブは動きません。

オートパワーセーブ(節電機能)をオフに設定する

オートパワーセーブをオフにするときは、以下の操作をしてください。

BLUETOOTH スタンバイ(p. 15)のときに

「A.P.S. Off」を選ぶ



(約2秒間押し続ける)

オートパワーセーブ(節電機能)をオンに設定する

オートパワーセーブを再度オンにするときは、以下の操作をしてください。

BLUETOOTH スタンバイ(p. 15)のときに

「A.P.S. On」を選ぶ



(約2秒間押し続ける)

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動で電源が切れる機能です。

スリープ



(くり返し押す)

押すたびに電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。

Sleep Off → Sleep 10 → Sleep 20 → Sleep 30 →
Sleep 60 → Sleep 90 → Sleep 120 → (最初に戻る)

- スリープタイマーが設定されているときは、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- スリープタイマーを解除するときは、「Sleep Off」を選んでください。

お知らせ

- スリープタイマーの動作中は、オートパワーセーブ(p. 46)は無効です。

残り時間を確認する

スリープ



残り時間を 5 秒間表示します。

その他の情報

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH Ver. 5.0 に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。
- すべての BLUETOOTH 機器再生を保証するものではありません。

USB メモリーのご注意

- 再生できる USB メモリーのファイルは、MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルです。
- USB 端子には、USB メモリー以外の機器を接続しないでください。
- USB メモリーの容量は 4GB 以上、16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- 本機で録音に使用できる USB メモリーはファイルシステム「FAT32」、容量 4GB 以上です。それ以外の USB メモリーや、お使いの USB メモリーによっては、録音中の再生音が途切れる場合があります。
- USB メモリーのセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- USB メモリーによっては、誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を一度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- USB メモリーは電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中やアクセス中に取りはずすと、USB メモリー内のファイルやファイルシステムが壊れる場合があります。
- 本機では、ファイルやフォルダーを削除することはできません。
- USB メモリーの取扱説明書もご覧ください。
- 「押し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)」については、「押し声オーディオ専用 USB メモリー」の取扱説明書をご覧ください。

再生できる CD とファイル

- CD 規格 (CD-DA) に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。
CD を再生するときは、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることをお確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。 
ファイル	• 音楽 CD フォーマットの CD-R / CD-RW • CD-R/CD-RW の MP3/WMA ファイル

CD-R / CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。
- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式 (UDF フォーマット) は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3/WMA ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMA ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。(フォルダーやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイル のご注意

- 再生できる MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルは <.mp3>、<.wma>、<.wav> または <.flac> の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオまたは MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルを再生できます。

サンプリング周波数

オーディオファイル	サンプリング周波数
MP3	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
WMA	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
WAV	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz
FLAC	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz

転送レート

オーディオファイル	転送レート
MP3	32 kbps ~ 320 kbps
WMA	64 kbps ~ 160 kbps

量子化ビット数

オーディオファイル	量子化ビット数
WAV	16 bit, 24 bit
FLAC	16 bit, 24 bit

- 本機は USB メモリー 1 つあたり最大 999 のフォルダーおよび 60,000 のファイルを認識します。
- 本機は CD1 枚あたり最大 99 のフォルダーおよび 500 のファイルを認識します。1 フォルダー内の最大ファイル数は 99 です。
- DRM (著作権保護) ファイルは「Not Supported」と表示してスキップします。
- VBR ファイルの早送り、早戻しには対応しておりません。また、正しく再生できない場合があります。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- 最大フォルダー数、最大ファイル数、1 フォルダー内の最大ファイル数を超えたディスクでは認識できない場合があります。
- ファイル名、タグ表示は半角英数字と半角カタカナに対応しています。それ以外の文字は「*」に置き換えて表示されます。
- 本機は、ID3 TAG VERSION 2 (曲名、アーティスト名、アルバム名)、ファイル名、フォルダー名を表示できます。(ただし半角英数字のみ)
- CD、USB のファイル名/フォルダー名およびタグ表示(タイトル/アルバム/アーティスト名)の最大文字数は 58 文字です。

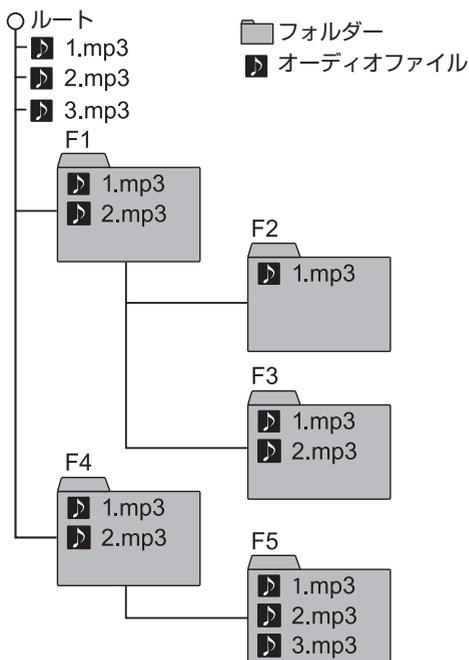
ファイルの再生順について

オーディオファイルは、CD-R/CD-RW や USB メモリーなどのルートにあるものから、記録されている順番に再生されます。

本機がフォルダーやオーディオファイルを再生する順番は以下のとおりです。

実際の再生順は、曲の記録された順番や使用するソフトウェアなどにより異なることがあります。

フォルダー構成例



ファイルの再生順

- 1 曲目 : 1.mp3
- 2 曲目 : 2.mp3
- 3 曲目 : 3.mp3
- 4 曲目 : F1_1.mp3
- 5 曲目 : F1_2.mp3
- 6 曲目 : F2_1.mp3
- 7 曲目 : F3_1.mp3
- 8 曲目 : F3_2.mp3
- 9 曲目 : F4_1.mp3
- 10 曲目 : F4_2.mp3
- 11 曲目 : F5_1.mp3
- 12 曲目 : F5_2.mp3
- 13 曲目 : F5_3.mp3

お知らせ

- もし曲順が変わってしまう場合は、パソコンで USB メモリー内の音楽をデスクトップにコピーし、曲名の先頭に「01・・・MP3」、「02・・・MP3」などの数字を付けてから、FAT32 形式でフォーマットした USB メモリーに書き込んでください。

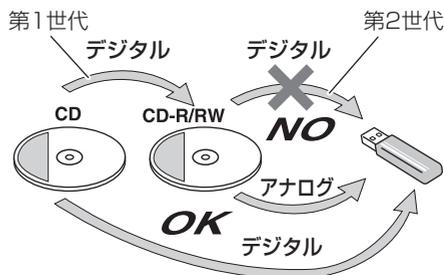
SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)

CD の音を他のデジタル機器 (MD や USB メモリーなど) にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作成することはできません。この決まりを SCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)といいます。

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは 1 世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

- この規定により、一度デジタル録音された CD からは、USB メモリーにデジタル録音することはできません。
- 本機では CD-R/RW からのアナログ録音はできません。



お手入れについて

CDの取り扱いとお手入れ

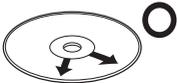
ケースから出すとき



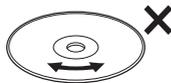
ケースに入れるとき



- CDにテープやシールを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CDをお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

商標

- AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.
- Microsoft, Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。株式会社 JVC ケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- Android は Google LLC.の商標です。
- "ウォークマン"は、ソニー株式会社の登録商標です。
- Qualcomm® aptX™は Qualcomm Technologies, Inc. および/またはその子会社の製品です。Qualcomm は米国および他の国々で登録された Qualcomm Incorporated の商標です。aptX は米国および他の国々で登録された Qualcomm Technologies International, Ltd.,の商標です。

故障かな？と思ったら

お困りの場合は、当社ホームページ
<https://www.jvc.com/jp/audio/support/>
のサポート情報から最新の Q&A
情報をご覧ください。ご解決で
きます。



ホームページの内容は予告なく変更になることが
あります。

**カスタマーサポートセンターにご相談になる前に、
ホームページや右記の項目をチェックしてください。
右記の処置をしても正しく動作しないときは本機を
リセットしてください。**

本機を操作できないときや、表示部が誤表示される
ときなどは、次の手順で本機をリセットしてください。

リセットすると、各種の設定内容(放送局プリセット、
タイマー設定など)は消去され、お買い上げ時の状態
となります。

- 1** **BLUETOOTH** スタンバイ(p. 15)のときに、リモコンの[◀◀] ボタンを押す
- 2** リモコンの[■] ボタンを押し続ける
・「Initialize」と表示され、BLUETOOTH スタンバイになります。
- 3** 電源コードのプラグをコンセントから抜く
- 4** 電源コードのプラグを再度コンセントに差し込む
本機がリセットされ、お買い上げ時の状態となります。

共通

電源が入らない。

- ➡ 電源コードのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
- ➡ 電源コードをコンセントから抜いて、1分程度経ってから差し込みなおしてください。

突然電源が切れてしまう。

- ➡ オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。(p. 46)

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

- ➡ 操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

- ➡ リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていますか。
- ➡ リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

音声が聴こえない。

- ➡ 音量が最小になっていませんか。
- ➡ 消音を解除してください。
- ➡ ヘッドホンをはずしてください。

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

- ➔ 相手機器側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。
- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、「A2DP」に対応しているか確認してください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、「AVRCP」に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- ➔ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。
- ➔ 無線 LAN ルーターなどの通信機器から 1m 以上離してお使いください。
- ➔ 電子レンジの動作中は、音が途切れる場合があります。
- ➔ スマートフォン、タブレットなどの端末の使用状況により、音が途切れやすくなる場合があります。この場合は、端末のマルチタスクアプリを終了し、端末を再起動してください。また、改善しない場合は、他の端末もお試しください。

USB メモリー／CD

再生できない。

- ➔ USB メモリーを正しく接続してください。
- ➔ CD はラベル面を上に入れてください。
- ➔ CD が汚れていませんか。CD を清掃するか、交換してください。
- ➔ 「パケットライト方式(UDF フォーマット)」で録音された CD は再生できません。
- ➔ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。BLUETOOTH 接続(p. 22)または本機の AUX 入力端子に接続してください。(p. 35)
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、10 曲程度転送して再生できるかお試しください。改善しない場合は、USB メモリーを交換してください。

MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルのフォルダーやトラックが意図したように再生できない。

- ➔ 本機は USB メモリーに音楽ファイルが記録されている順番に再生します。USB メモリー内のファイル操作(削除、追加、移動、名前の変更など)を繰り返すことにより、順番が入れ替わることがあります。その場合は、パソコンで USB メモリーをフォーマットした後に再度転送してください。

USB メモリーや CD からの音声が途切れる。

- ➔ 汚れや傷のある CD は、清掃するか交換してください。
- ➔ 正しく記録された MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルを再生してください。
- ➔ 本機の電源を切り、USB メモリーを接続し直してください。
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルを転送して再生できるかお試しください。

USB メモリーに録音したファイルを CD-R にコピーしたい。

- ➔ パソコンでの操作になりますので、お使いのパソコンのメーカーにご相談ください。

CD トレイが開かない

- ➔ チャイルドロックがオンになっています。設定を解除してください。(p. 31)

ラジオ

放送が聴こえない。

- ➔ アンテナを正しく接続してください。(p. 12, 13)

雑音が多く放送が聴きづらい。

- ➔ AM アンテナを調節してください。(p. 33)
- ➔ FM アンテナを調節してください。(p. 33)
- ➔ 窓際などで受信できるかお試しください。

外部機器

外部機器の音声が聴こえない。

- ➔ 外部機器を正しく接続してください。(p. 35)
- ➔ ソース(音源)が外部機器を接続した入力端子(「AUX」または「DIGITAL IN」)になっているか確認してください。
- ➔ 外部機器の音量を確認してください。
- ➔ デジタル入力(光)端子に外部機器を接続している場合は、外部機器のデジタル音声出力設定を「PCM」に設定しているか確認してください。

BLUETOOTH 送信機能

ワイヤレスヘッドホンに接続できない。

- ➔ ワイヤレスヘッドホン側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。
- ➔ お使いのワイヤレスヘッドホンの説明書などで、「A2DP」に対応しているか確認してください。

本機からワイヤレスヘッドホン进行操作できない。

- ➔ BLUETOOTH 送信機能を使って、ワイヤレスヘッドホン进行操作することはできません。

ワイヤレスヘッドホンから本機进行操作できない。

- ➔ ワイヤレスヘッドホンから本機を操作(再生/一時停止、曲を選ぶ、早戻し/早送りなど)することはできません。本機付属のリモコンで操作してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- ➔ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。
- ➔ 無線 LAN ルーターなどの通信機器から 1m 以上離してお使いください。
- ➔ 電子レンジの動作中は、音が途切れる場合があります。
- ➔ スマートフォン、タブレットなどの端末の使用状況により、音が途切れやすくなる場合があります。この場合は、端末のマルチタスクアプリを終了し、端末を再起動してください。また、改善しない場合は、他の端末もお試しください。

録音

録音できない。

- ➔ USB メモリーの空き容量がありません。
- ➔ USB メモリーの書き込み禁止を解除してください。
- ➔ USB メモリーをフォーマットしてください。
- ➔ 別の USB メモリーで録音をお試しください。

タイマー

再生タイマーが作動しない。

- ➔ 電源が入っていませんか。再生タイマーを作動させるには、電源を切ってください。

録音タイマーが作動しない。

- ➔ 電源が入っていませんか。録音タイマーを作動させるには、電源を切ってください。

タイマー設定ができない。

- ➔ 時計が設定されていません。先に時計設定をして下さい。(p. 15)

推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)

推し声オーディオ専用 USB メモリー(別売り)が再生できない。

- ➔ 他の USB メモリーが再生できるか確認してください。
- ➔ リセット(p. 52)をお試しください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力: 20 W + 20 W (JEITA* 4 Ω)

CD プレーヤー部

読み取り方式: 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)

チューナー部

受信周波数: FM: 76.0 MHz - 95.0 MHz

AM: 531 kHz - 1,602 kHz

アンテナ: FM: 75 Ω 不平衡型

AM: ループアンテナ

入出力端子

USB: 出力: DC 5 V  1 A
仕様: USB2.0 ハイスピード
対応機器: USB マスストレージクラスデバイス
ファイルシステム: FAT32
対応ファイル形式: MP3 / WMA / FLAC / WAV

AUX 入力: RCA 入力端子 x 1 系統

デジタル入力(光): OPTICAL 入力端子 (角型光端子) x 1

PHONES: ステレオミニ (Ø 3.5 mm) x 1

BLUETOOTH 部

規格: BLUETOOTH Ver. 5.0

送信出力: Class 2

最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯

対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

対応コーデック: SBC / AAC / aptX / aptX HD

対応コンテンツ保護: SCMS-T 方式

BLUETOOTH 送信機能

規格: BLUETOOTH Ver. 5.1

送信出力: Class 2

最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯

対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

対応コーデック: SBC

対応コンテンツ保護: SCMS-T 方式

共通部

電源:	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力:	24 W(定格消費電力) 5 W 以下 (BLUETOOTH スタンバイモード時) 0.5 W 以下(ノーマルスタンバイモード時)
最大外形寸法:	幅 450 mm × 高さ 136 mm × 奥行き 282 mm
質量:	7.0 kg

スピーカー部

システム:	1 ウェイ バスレフ型
スピーカーユニット:	フルレンジ: 85 mm ウッドコーン型
インピーダンス:	4 Ω

*は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。

本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

<メモ>

保証とアフターサービス

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

- 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輦、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - 消耗品(電池など)の消耗。
 - (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
 - (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
 - 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社JVCケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- 修理などのアフターサービスについては、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.jvc.com/jp/support/hrepair/>
- 商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。



固定電話からはフリーダイヤル:0120-2727-87

携帯電話からのご利用はナビダイヤル:0570-010-114

一部IP電話からのご利用は:045-450-8950

受付時間:月曜～金曜 9:30～18:00 / 土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

保証書

持込修理

品名	オーディオ商品	製造番号	
型名	EX-DUB1		
お客様	お名前	ふりがな	様
	ご住所		
ご購入年月日	年 月 日	保証期間	ご購入日から 本体 1年間
ご購入店	住所・店名・電話		

お客様へのお願い

- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
- 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品本体に記載されている8桁の製造番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
- ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ <https://www.victor.jp/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12